

学校だより



SINCE 1874

岩内町立岩内東小学校

東風

TEL0135-62-0246

平成30年6月29日発行

学校教育目標『明るく伸びる子』

【具体目標】

○考える子 ○助け合う子 ○やりぬく子
○じょうぶな子

月
日
()
日直

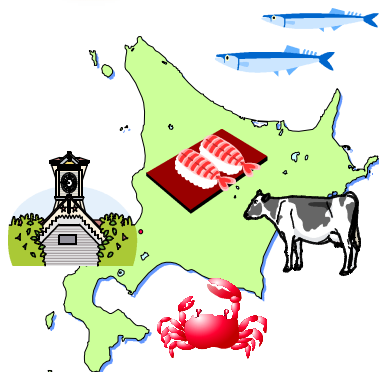
第4号

6月

ふるさとを大切に



岩内東小学校長 中田 亨



今年の運動会は天候に恵まれ気温が高かったこともあって子供たちは気持ちよさそうにそれぞれの競技や演技に臨み、最高のパフォーマンスを披露してくれました。当日は会場を埋め尽くすほどたくさんのご来賓、保護者・地域の方々にお集まりいただき、最後まで温かいご声援とたくさんの拍手をいただきまして誠にありがとうございました。運動会で培った力を今後の教育活動に生かして参りたいと考えておりますので、今後とも保護者の皆様方の一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

さて、春の学校花壇を飾ってくれていたチューリップもその役目を終え、公務補さんがベゴニアやサルビア、マリーゴールドなど5種類の夏の花に彩りを変えてくれました。子供たちは四季折々に咲く花や、教室の窓から見える雄大な岩内岳を日々目にしながら、岩内港での乗船体験、郷土館や町内の施設見学等を通して、自分たちの住む自然豊かで歴史と伝統あるふるさとの良さを肌で感じ取っていきます。恵まれた自然環境の中で、様々な体験活動を積み重ねたり多くの地域の人たちと触れ合うことでふるさとを大切にする気持ちが育っていくのです。

ところで私たちのふるさと北海道は今年で開基150年を迎えます。昨年度から多くの大学や企業、官公庁等が「北海道みらい事業」及び「北海道150年事業応援企画」に登録し、ドローンによる北海道の自然の空撮、アイヌの人々についての講演会の開催、サイクリング協会による北海道沿岸2400kmサイクリング、クラシックカーラリーを通しての市町村交流、北海道の食の魅力再発見フェア等数多くのイベントやコンクール、コンサート、各種祭典が全道各地で開催されています。

また、道教委では本道の子供たちが、ふるさと北海道の歩んできた道を振り返り、郷土に対する愛着や誇り、郷土をさらに発展させていこうとする態度を育てることができるよう、北海道にゆかりのある先人の伝記を題材にした教材「きた・ものがたり」を作成しています。その中には、「北海道」の名付け親として知られる探検家の松浦武四郎や、札幌農学校の教授を務め、その後、国際連盟の事務次長となった新渡戸稲造など、北海道にゆかりのある偉人として16人が取り上げられています。

来月17日(火)は「北海道みんなの日」(通称:道民の日)です。特別な行事は持てませんが、北海道の良さを改めて見つめ直すきっかけとして、校長室前の掲示板を活用してクイズ形式で北海道にゆかりのある偉人を紹介したり、北海道再発見コーナーを設けるなどの取組をしたいと思います。ご来校の際にはぜひご覧になり、話題の一つにいただければ幸いです。